

みずほCustomer Desk Report 2020/08/12号(As of 2020/08/11)

市場営業部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値 GBP/USD	106.18 AUD/USD
TKY 9:00AM	105.99	1.1737	124.46	1.3071	0.7156
SYD-NY High	106.68	1.1809	125.48	1.3132	0.7189
SYD-NY Low	105.94	1.1722	0.00	1.3044	0.7135
NY 5:00 PM	106.50	1.1740	125.03	1.3049	0.7145

NY DOW	27,686.91	▲ 104.53	日本2年債	-0.120	1.00bp
NASDAQ	10,782.82	▲ 185.53	日本10年債	0.020	1.00bp
S&P	3,333.69	▲ 26.78	米国2年債	0.152	2.20bp
日経平均	22,750.24	420.30	米国5年債	0.276	3.96bp
TOPIX	1,585.96	39.22	米国10年債	0.642	6.27bp
シカゴ日経先物	22,700.00	185.00	独10年債	-0.4735	5.25bp
ロンドンFT	6,154.34	103.75	英10年債	0.1985	7.00bp
DAX	12,946.89	259.36	豪10年債	0.8790	0.80bp
ハンセン指数	24,890.68	513.25	USDJPY 1M Vol	6.45	0.11%
上海総合	3,340.29	▲ 38.96	USDJPY 3M Vol	7.98	0.02%
NY金	1,946.30	▲ 93.40	USDJPY 6M Vol	7.63	0.05%
WTI	41.61	▲ 0.33	USDJPY 1M 25RR	-0.88	Yen Call Over
CRB指数	146.86	▲ 0.72	EURJPY 3M Vol	7.79	▲0.17%
ドルインデックス	93.63	0.05	EURJPY 6M Vol	7.96	▲0.14%

アジア	東京時間のドル円は105.99レベルでオープン。3連休明けということもあり、本邦勢のドル買いにも支えられ、底堅く推移。仲値後、ドル買いが一巡し、安値105.98まで下落する局面もあったが、正午にかけて106円台を回復すると、東京時間終盤には高値106.22まで上昇。結局106.20レベルで海外時間に渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、106.20レベルでオープン。株式市場は堅調であったが円売りとはならず、ユーロが買われドルが売られる中で一時105.98円まで売られ106.04レベルでNYに渡った。ユーロドルは、1.1733レベルでオープン。独8月ZEW期待指数が予想を上回ったことでユーロ買いが優勢となり1.1809まで堅調に推移。その後はもみ合って1.1780レベルでNYに渡った。(ロンドン・トルフリー00531 444 179 神田)
ニューヨーク	海外市場のドル円は、日本株や欧州株の堅調推移を眺め、一時106.24まで上昇。しかし、その後は欧州通貨や資源国通貨に対するドル売りの流れに圧迫され、105.98まで反落し、106.04レベルでNYオープン。朝方は安値105.94まで売られる場面もあったが、米7月PPIが予想を上回ったことや、米株高・債券安の流れにサポートされ、この水準で下げ止まる。その後、米金利が一段と上昇したことや、ダウ平均やS&Pが約5か月半ぶりの水準を付けたことを受けて、106.44まで買われるが、106.50近辺では売り意欲もみられ、106.35まで下押し。しかし、米10年債利回りが7月15日以来の水準となる0.65%近辺で推移する中、午後とも底堅い推移となり、戻り売りをこなしながら106.50を上抜け、高値を106.68まで更新。終盤はマコネル米共和会上院院内総務が「米景気対策の交渉が行き詰まっている」と発言する中、リスク選好ムードが一服し、ドル円の買いも一巡した結果、106.50レベルでクロス。一方、海外時間のユーロドルは1.17台半ばでのみみ合いでスタートするが、欧州主要株式市場が軒並み2%以上の上昇を見せる中、ユーロ買い優勢の流れ。プーチン露大統領が「国内開発されたコロナウイルスワクチンをロシアの保健省が認可した」と発表し、リスク選好ムードが強まったことや、独8月ZEW景況感指数が予想を大幅に上回ったこともあいまって、一時1.1809まで上昇し、1.1781レベルでNYオープン。朝方は1.18台での戻り売りや、米金利の上昇幅拡大を手掛かりに1.1758まで下落。午後とも米金利が約1か月ぶりの高水準で推移を続ける中、上値の重い推移が続く。終盤はマコネル氏の発言を受けて、ダウ平均やS&Pがマイナス圏に沈む中、リスクオフのドル買いが強まり、安値1.1729をつけ、1.1740レベルでクロス。

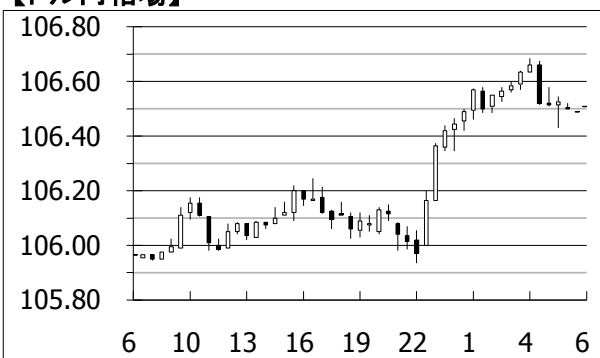
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
8月11日	18:00	独 ZEW調査現状指数	8月 -81.3	-69.5
	18:00	欧 ZEW景気期待指数	8月 64	-
	21:30	米 PPI(前月比/前年比)	7月 0.6%/-0.4%	0.3%/-0.7%
8月12日	00:00	米 バーキン・リッチモンド連銀総裁 講演	-	-
	01:00	米 デーリー・サンフランシスコ連銀総裁 講演	-	-

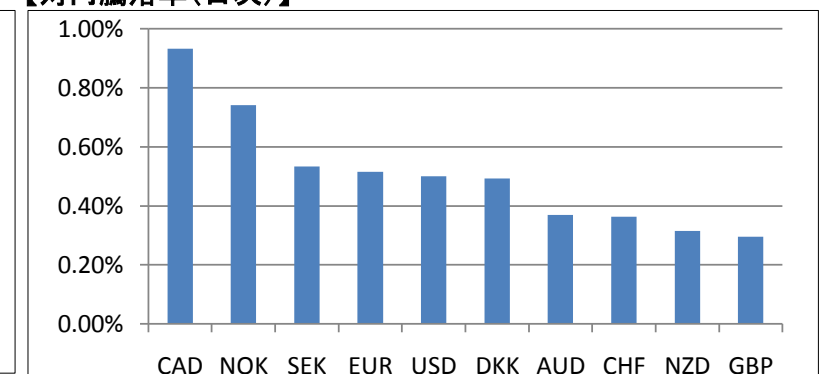
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
8月12日	15:00	英 鉱工業生産(前月比/前年比)	6月 9%/-13.1%	6%/-20%
	15:00	英 製造業生産(前月比/前年比)	6月 10%/-15%	8.4%/-22.8%
	15:00	英 GDP(前期比/前年比)速報	2Q P -20.7%/-22.3%	-2.2%/-1.7%
	21:30	米 CPI(前月比/前年比)	7月 0.3%/0.7%	0.6%/0.6%
8月13日	00:00	米 カプラン・ダラス連銀総裁 講演	-	-

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【ドル/円相場について】 ECB後のユーロ

本日、日銀金融政策決定会合の結果が公表される予定であるが、YCC、ETF等の買入れ額、新型コロナ対応の企業資金繰り支援プログラムなどすべての政策で現状維持となろう。3月に導入された資金繰りプログラムをはじめ、足許は政策の効果の波及を見極める段階にある。これは、明日結果が公表されるECB政策理事会についても同様のことが言える。ECBのラガルド総裁は、「これまでの実施した政策によって、経済データを注意深く評価する十分な時間がある」と述べており、おそらく現状維持の公算大だろう。TLTROⅢに加え、パンデミック緊急購入プログラム(PEPP)は1.35兆ユーロ中3,550億ユーロ順調に消化。ECB後の17、18日に予定されているEU首脳会合で、7500億ユーロ規模と言われている復興基金について議論されることも様子見姿勢としたい理由の一つである。一方で、新たな基金に対しては、その規模や方法などで加盟国から主に反対意見が出ている。財政規律に厳しいオーストリアやオランダ等は貸付であり返済義務を一部儲けるべきと主張。一方で、南欧の国を中心に救済基金の貸付形式に反対を唱えている状態である。結果的に結論が出ない可能性も大いにあるものの、もし基金が立ち上がるのであればまさに「ゲームチェンジャー」となろう。かかる状況下、ブレグジットに伴う英国との交渉も残存しており、ユーロ圏の情勢は不確実性が高い。ユーロ相場においては、当面は上下に方向感の出ない展開が継続しそうだ。(原田)

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当: 鈴木・鈴木 TEL:03-3242-7070 FAX:03-3211-5825 LDN 00531-444-179 NY 00531-113-682

■今週のドル/円 見通し

田中	竹内	筒井	加藤	牛島	山岸	田坂	尾身	上野	山口	甲斐		
ベア	ベア	ブル	ブル	ブル	ベア	ベア	ブル	ベア	ベア	ベア		
小野崎	玉井	原田	上遠野	小林	松本	大谷	大庭	逸見	木村		ブル	ベア
ブル	ベア	ベア	ベア	ベア	ベア	ベア	ブル	ベア	ベア		6	14